ORACLE 2008/06/17 作成者 作成日 更新日 2009/03/13 更新者 SCS冨田 Issue3.0 MD050 SPF COS 012 EDI帳票 説明: EDI関連の帳票 Ver. 木村

処理概要

EDI受注に対して出荷作業を行うために、各種ピッキングリストを出力する

ピッキングリストは下記3パターンが存在し、顧客によってどのピッキングリストを出力するか判別される

①ピックリスト(チェーン・製品別トータル)

②ピックリスト(出荷先・販売先・製品別) ③ピックリスト(出荷先・製品・販売先別)

システム利用者

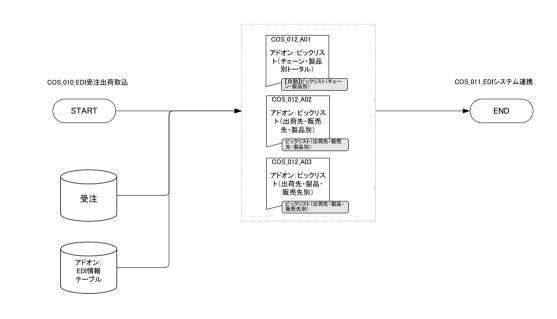
拠点_内務担当者、システム管理者

処理タイミング、その他

手動による随時実行

システムプロセスフロ一記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを 明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

